

丸井織物 東京・原宿に拠点

スポーツウェア向け生地製造などを手掛ける丸井織物(石川県中能登町)は東京・原宿に、インターネット関連事業と繊維

事業の営業拠点を設けた。生地や衣服のサンプルを置くショールームも併設。人材を確保しながら、新事業の創出や育成に向け流行の発信地である原宿を拠点にネット関連企業、アパレル業界などとの連携を強化する。



IT・アパレル企業に営業 新事業創出や人材獲得

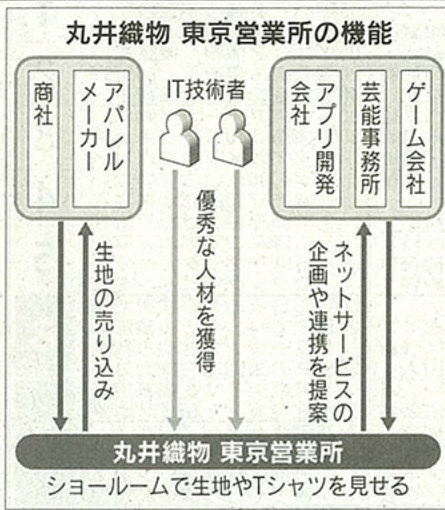
同社が東京に本格的な営業拠点を構えるのは初めて。ビル2階に入居する東京営業所の広さは約90平方メートルで、今月下旬以降はこのうち半分ほどをショールームや商談ス

ペースとしても活用する。生地の見本や、実際に生地を使った衣服のサンプルなどを置く。

ネット関連サービスの企画や営業の担当者のほか、アパレルメーカーや問屋、商社などを回る繊維事業の営業担当者の計5人の体制でスタートする。東京に拠点を構えたことでIT(情報技術)の優れた技術者が集まり

やすくなるとみており、1年後には10人の体制にまで増強する。

ネット関連の営業ではゲーム会社や芸能事務所などの連携を進める。例えばゲーム内でアイテムを購入すると関連するTシャツがもらえるといった企画を提案したり、芸能事務所にオリジナルTシャツの作製を促したりする。企画を提案した



上でショールームに案内し、Tシャツの素材やデザインイメージなどを実際に見せることでわかりやすく説明する。

丸井織物は2020年12月期を最終年度とする経営計画で「ものづくりとITの融合」をテーマに掲げている。14年12月期比約2倍の売上高200億円を目指しており、このうちネット事業で44億円を稼ぎ出す構想を描く。

15年12月期には無料対話アプリ「LINE」のスタンプ受託製作や、サイトの利用者がTシャツや小物のデザインを登録・販売できるサービス「UPT」(アップティ)といったネット関連サービスを投入している。